



第6回仙台国際音楽コンクール
ヴァイオリン部門：2016.5.21(土)~6.5(日)
ピアノ部門：2016.6.11(土)~6.26(日)

Vol.6-2
(2015.9.12発行 第6回コンクール関連 第2号)

インタビュー アンナ・サフキナさん

(第5回仙台国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門第4位)

第5回仙台国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門で第4位に入賞されたアンナ・サフキナさん(ロシア)がこの8月、来日されました。8月7日に日立システムズホール仙台で行われたトーク&コンサートのリハーサル前にインタビューさせていただきました。

久しぶりに訪れた仙台の感想はいかがですか？

2年前初めて仙台に来た時に、仙台や日本がすごく好きになって頭から離れなくなりました。いつかまた行きたいとずっと思い続けて、やっと夢が叶いました。

前回の仙台国際音楽コンクールの印象的な思い出は？

一番嬉しかったのは予選の段階からファイナルまで全てオーケストラと共演できたことです。普通そんな贅沢なコンクールはありません。予選で、初めて指揮者のいない室内アンサンブルと共演したことが特に印象に残っています。実は、2013年3月に仙台フィルのモスクワ公演を聴いて感激し、出場が決まっていた仙台のコンクールへの想いが更に強くなりました。コンクールで共演できたことを光栄に思っています。コンクールの運営面でも全てのスケジュールがスムーズに進んで、快適に過ごせました。お世話して頂いたボランティアの方々の顔は全員覚えていて、今でも連絡を取りあっています。

生まれ故郷のブラーツクはどんな所ですか？

ブラーツクはシベリアに位置する街で、近くに有名なバイカル湖や森があります。私はここに10歳まで住んでいました。ブラーツクは比較的小さな町で、都会ではありません。だから私は自然が大好きです。今私の生活に一番欠けているものと言えば、森やきれいな湖かもしれません。

5歳で始めたヴァイオリンとの出会いは？

子どもの頃から歌や踊りが好きだった私を見て、母が音楽学校に連れていき、先生に相談したのです。先生はヴァイオリンを勧めてくれました。私は背がとても低かったので、ピアノでは鍵盤に手が届かないだろうと思われたらしいです(笑)。そして午前は普通学校に通い、午後は音楽学校に通うという生活が始まりました。

その後、10歳でモスクワに移られたのですね。

本当はもっと早くモスクワで勉強することをいろいろな先生から勧められていたのです。でも小さい子供のうちからモスクワのような都会で勉強すると、逆に翻弄されてしまうことがあると考えて、母は私が10歳になるまで待ってから引っ越すことにしたのです。母の判断は正しかったと思います。

モスクワで最初に入ったグネーシン特別音楽学校はどんな学校でしたか？

ロシアでは音楽院に進学するための勉強ができる音楽学校が多くあり、グネーシン特別音楽学校もその一つです。ここの教育はしっかりとっていて、学校では音楽だけでなく一般科目も頑張るための勉強しました。校長先生も理解のある素敵なお方で、学校のオーケストラもとてもよかったです。実は仙台のコンクールの後、モスクワに帰ってきて、数日後にモスクワ音楽院の入学試験があったのです。準備する時間は全くなかったのですが、学校でしっかりと学んでいたため、首席で入学できました。

モスクワ音楽院での学生生活はいかがですか？

学生や先生、学院の室内オーケストラ、全てがロシアでは最高レベルかもしれません。このような環境で学び、演奏できるのはすごく恵まれています。師事しているのはアレキサンドル・ヴィニツキー先生です。プロの芸術家として、そしてプロの教師として高いレベルの先生だと思っています。私のことを良く理解して、指導してくれます。才能が高い学友に囲まれ日々切磋琢磨して、自分の技術に磨きを掛けています。

音楽以外の趣味やお気に入りのファッションは何でしょうか？

写真とビデオ撮影が趣味です。小さい頃から写真を撮るのが大好きでした。特に自然を撮ることに夢中です。ファッションについては難しい質問ですね(笑)。勉強しなければならないので、服はその時の気分で買う程度です。コンサートのドレスはすべて母が手配してくれています。

仙台市民へのメッセージをお願いします。

自分にとって、仙台だけでなく日本という国は本当に特別な国で、独特な文化、雰囲気、美しさを持っていると思います。ヨーロッパやアメリカの影響がいろいろ入ってきていますが、この日本固有の文化がずっと守られていくことを願っています。

どんな質問にもまっすぐ真面目に答えてくれたサフキナさん、これからも応援していきます！





「せんくら2015」がやってくる!

第10回



せんくら2015公式サイトに
今すぐアクセス

仙台の街のあちこちにクラシック音楽があふれる3日間、10月2日(金)～4日(日)は、いよいよ第10回仙台クラシックフェスティバル2015の開催日。45～60分の公演が朝から晩まで用意され、どれも1,000～2,000円の手軽な料金でソロリサイタルからオーケストラまで親しみやすい曲がいっぱいです。

メイン会場は日立システムズホール仙台(旭ヶ丘)、イズミティ21(泉中央)、エル・パーク仙台(勾当台公園)、太白区文化センター(長町)の4ヶ所。全て仙台市営地下鉄の駅から歩いてすぐの場所にあります。地下鉄の1日乗車券を買って、コンサートの「はしご」を満喫しましょう。

今年は「せんくら」10周年、普段はありえない特別なプログラムが目白押しです。例えば、仙台国際音楽コンクール第1回優勝者ジュゼッペ・アンダローロ、スヴェトリン・ルセフ、第2回優勝者タン・シャオタン、松山牙花が仙台に集結して、ソロや共演を繰り広げると聞けば、コンクールファンは胸の高まりが抑えられないはず。国内外で活躍する豪華な顔ぶれのミュージシャン達が出演する86の公演がキラ星のように並んでいるプログラムを見たら、どれを聴こうか皆さんの頭を悩ますことでしょう。そんな皆様のために、コンクールボランティア2名がおすすめ公演を紹介します。

10年目にふさわしい今年の「せんくら」。多彩なプログラムの組合せ、出演者の顔ぶれにあれもこれもと迷う事しばし。以下、私がお薦めする主な公演です。

10/3 (土)

【24】国際的活躍も華々しいチェリスト宮田大、バンドネオンの新星、三浦一馬とともに極める「麗しのタンゴ」

19:00～20:00 日立システムズホール仙台コンサートホール 1,500円

若い二人がタンゴとどう向き合い、料理するか、今回の期待度No.1!

【37】第1回仙台国際音楽コンクール優勝者、ジュゼッペ・アンダローロが届ける、故郷イタリアの風

13:00～13:45 エル・パーク仙台ギャラリーホール 1,000円

マンマの料理が一番とのたまうマザコン?でも私の好きなピアニスト。

【44】仙台生まれのカルテット“セレーノ”せんくら10周年に再集結!

14:45～15:30 太白区文化センター楽楽ホール 1,000円

久方ぶりにセレーノの響きを!

10/4 (日)

【64】おなじみの原田哲男が表現する、ラフマニノフの美しい旋律とチェロの魅力

15:45～16:30 日立システムズホール仙台シアターホール 1,000円

チェロ&ピアノ、今年5月カフェ・モーツァルトアトリエで演奏された曲目の再演。

二人の熱演の再現!を期待して。

【68】新星、三浦一馬が挑む【バンドネオンの挑戦II】福田進一&三浦一馬

11:45～12:30 エル・パーク仙台ギャラリーホール 1,000円

魅力あるギター&バンドネオンのコラボ。これも楽しみ。



宮田大



三浦一馬



ジュゼッペ・
アンダローロ



セレーノ弦楽四重奏団



原田哲男



福田進一

年に一度の音の玉手箱。予算と日程の許す限り、皆さんもおおいに楽しんで!

数年前に仙台国際音楽コンクールと「せんくら」のボランティア募集のチラシが目が留まり応募して、今回初めて記事を書くことになった。10年目を迎えた特別な「せんくら2015」では、どの公演も10周年を意識しての出演者とプログラムからなっており、その中でも私のこだわりは下記の2つの公演で、必ずやお客さんを魅了することは疑いない!

10/2 (金)

【3】せんくら10周年特別企画!「せんくら・フェスティバル・ソロイスト」

19:00～20:00 日立システムズホール仙台コンサートホール 1,500円

「せんくら」リクエストランキングでも曲目部門で第5位に「四季」が入っている。私はあまりクラシックには縁がないが、中学生のころからクラシックといえばヴィヴァルディ「四季」の曲オンリーを耳にしていた。せんくら・フェスティバル・ソロイストでは「四季」のそれぞれの楽章を第一線で活躍しているソリストが弾き分けるという豪華版である。聴き逃すという手はない!



スヴェトリン
・ルセフ



渡辺玲子



川久保陽紀



大谷康子

10/4 (日)

【77】ディズニー～ジブリ～クラシック名曲1966カルテット

10:30～11:15 太白区文化センター展示ホール 1,000円

「0歳からのコンサート」ということで、是非お母さんとお子さんに勧めたい。

通常、小さいお子さんはコンサートに入れないが、今回は家族でクラシックの生演奏が楽しめる。



1966カルテット

「せんくら2015」の情報は公共施設や仙台市営地下鉄でゲットできるパンフレット、公式サイト (sencla.com)、Facebook (「せんくら」で検索!)、twitter (@sen_claを検索) でどうぞ。チケットはチケットぴあ、ローソンチケット、日立システムズホール仙台、イズミティ21事務局で購入できます。

10周年とあって、すでにチケット完売公演が次々と出ています。本紙おすすめ公演がお読みになった時点で完売になっていたら、ご容赦ください。開催直前はチケット購入が混みあいます。また、当日券は高校生以上各料金500円増となってしまうので、前売券の早めのご購入をおすすめします! (完売公演の当日券の販売はありません)

【問い合わせ】せんくら事務局 (仙台市民文化事業団内) TEL:022-727-1872 (平日9:00～17:00)

PIANO! PIANO !! PIANO !!!

2015年6月21日(日)、日立システムズホール仙台 交流ホールにて、第6回 仙台国際音楽コンクール関連事業SIMC交流シリーズコンサート「PIANO! PIANO!! PIANO!!!」が開催されました。

このコンサートは、仙台、被災地に多大なる想いを寄せつつ活動している、仙台国際音楽コンクールの出場経験もある3人のピアニスト、佐野隆哉さん、鈴木美紗さん、法貴彩子さんが出演し、当日は満員。

親しみやすい曲も多く、大変感動的なコンサートでした。

終演後に3人からお話を伺うことができました。



(左から) 鈴木さん、法貴さん、佐野さん

仙台国際音楽コンクールでの特に印象深い思い出を教えてください。

鈴木：ホームステイ先での温かなおもてなし、ボランティアの方々や事務局が大変温かく接して下さったことが忘れられません。他のコンクールでは決して味わうことができない経験でした。コンクールへの緊張もほぐれました。

みなさんが、ひとりのアーティストとして扱ってくださる姿勢も嬉しかったです。

これまで5回、被災地復興の願いを込めて、東京でチャリティーコンサートを開催されていますが、このコンサートへの想いをお聞かせください。

佐野：これまで5回続けてきており、その収益金は被災地支援の二つの団体に寄付させていただいています。現在は企画から実施までのあらゆることを、3人で綿密な打合せをしながらこなしています。今後は「弾きたい曲を弾くコンサート」ではなく、しっかりと自分たちがプロの演奏家として、お客様に提供できるコンサートとしてもプロデュースしていければと考えています。



本日のコンサートを終えての感想を教えてください。

法貴：トークをはさみつつのコンサートでしたので、みなさんの緊張感も解けたことと思います。私たちも、客席のみなさまと非常に近い感じがしました。3人で連弾したことが最も印象深いです。

「コンチェルト」の読者のかたへのメッセージをお願いします。

佐野：コンクールで出会った「人の縁」で、こうして仙台でコンサートを開催することができて嬉しいです。来年のコンクールでも、演奏者と地元のみなさんとの「人の輪」が繋がっていった何か生まれていったならとても嬉しいです。

一日インタビューを担当した私は、ラフマニノフ18歳のときの作品、「六手のためのロマンス」が最も印象的でした。3人が一台のピアノを連弾して奏でた豊かな調べに、会場に居合わせた人々は、おそらく私同様、大きな安らぎと感動を得たことと思います。3人の今後のさらなるご活躍を期待しています。



仙台国際音楽コンクールを支える大きな力 仙台フィルハーモニー管弦楽団をもっと知ろう！【2】



仙台フィル マスコット・キャラクター
©MIKIO IGARASHI/S.P.O

今回は「オーケストラの楽器編成ってどうなってるの？」をテーマに、我が仙台フィル（仙台フィルハーモニー管弦楽団の略称）の楽器編成について前回ご登場の仙台フィル事務局の村上演奏部長にうかがいました。

オーケストラの楽器編成は、音楽の歴史と共にだんだん大きくなってきました。

コンクールに合わせて、協奏曲の分野で考えてみますと宮廷でモーツァルトが演奏していた時代は、例えばヴァイオリン協奏曲はほとんどの曲が少ない弦楽器にオーボエ2本、ホルン2本で書かれています。

ベートーヴェン、メンデルスゾーン、ブラームスと時代が現代に近くなるにつれてオーケストラの編成は楽器の種類や数が増えて、規模がだんだん大きくなってきます。

ブラームスではフルート、オーボエ、クラリネット、ファゴットが2本ずつ、ホルンは4本、それにトランペット2本、

ティンパニと言うようにオーケストラの管楽器の編成が大きくなり、それに合わせて弦楽器の数も増えてきました。

第6回のコンクールではヴァイオリン部門のファイナルにプロコフィエフやショスタコーヴィチの協奏曲も課題曲になっていて、より多くの管楽器が使われます。

そうした時、弦楽器の人数を何人にするかはホールのこと、オーケストラとソリストのバランスなどを考えて指揮者の判断によって決められます。

演奏される曲目の作曲された時代などを考えて、オーケストラがどのような編成で演奏しているかを見ながら聴くのも楽しいことですね。



第6回仙台国際音楽コンクール関連事業

仙台国際音楽コンクールでは、来年開催される第6回国際音楽コンクールに向けてコンクールに関連した事業を展開しております。

■仙台国際音楽コンクールボランティアプロジェクトV o 1.21

ソナ・パクさんを迎えて ～深まる秋 極上の音楽に酔いしれて～

第5回コンクールピアノ部門第4位のソナ・パクさんを迎えたトーク付ミニコンサートです。250名様を無料でご招待いたします。

[日時]2015年11月19日(木) 19:00開演(開場18:30)

[会場]日立システムズホール仙台 交流ホール

[出演]ソナ・パク(ピアノ) (第5回仙台国際音楽コンクールピアノ部門第4位)

<申込方法>

往復はがきの往信面の裏に、公演名「ソナ・パクさんを迎えて」・住所・氏名・電話番号を、返信面の表に住所・氏名を記入のうえ下記まで郵送ください。

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5

仙台市民文化事業団コンクール推進課 「ソナ・パクさんを迎えて」係

申込締切:2015年11月5日(木) 必着

■仙台市民交響楽団 第73回定期演奏会

ソナ・パクさんと市民オーケストラがお届けするチャイコフスキーのピアノ協奏曲

[日時]2015年11月22日(日) 14:00開演

[会場]日立システムズホール仙台 コンサートホール

[出演]ソナ・パク(ピアノ)

角田鋼亮(指揮)

仙台市民交響楽団(管弦楽)

[演奏曲目]チャイコフスキー/ピアノ協奏曲 第1番 変口短調 op.23 他

[チケット]全席自由 一般/1,000円(当日1,300円) 高校生以下/500円(当日700円)

※9月中旬発売予定

[問い合わせ]仙台市民交響楽団 070-5475-5982



ソナ・パク

■第6回仙台国際音楽コンクール関連事業

街かどガラ・コンサート

成長著しい仙台ゆかりの演奏家14名が集結します。

[日時]2015年12月9日(水) 19:00開演

[会場]イズミティ21 小ホール

[出演]ヴァイオリン/飯川直美、梅津亮子、西村萌玖夢

ピアノ/石丸友貴、今村亜紀、大伏啓太、岡崎咲子、

澤田和歌子、住田怜美、平田ゆう、文京華、

星簇亜実、三又瑛子、渡邊真司

[演奏曲目]

モーツァルト/4手のためのピアノ・ソナタ 八長調

K521より 第一楽章

フランク /前奏曲、コラールとフーガ

ラヴェル /ツィガーヌ

ラフマニノフ/楽興の時 op16より 他

[チケット]全席自由 一般/2,000円 学生/1,000円

(仙台市民文化事業団友の会会員価格:一般/1,800円)

[問い合わせ]仙台市民文化事業団 総務課 022-727-1875

■ヴァイオリニスト・堀米ゆず子が語る

「音楽と音楽家」

[日時]2016年1月19日(火)

19:00開演

[会場]日立システムズホール仙台

交流ホール

[出演]堀米ゆず子(ヴァイオリニスト)

第6回仙台国際音楽コンクール

ヴァイオリン部門審査委員長/

ブリュッセル王立音楽院教授

1980年エリザベート王妃国際音

楽コンクールで日本人初の優勝を

飾る。以来世界的オーケストラ、

アーティストと共演。

<申込方法>

代表者名、電話番号、参加人数、

イベント名「音楽と音楽家」を

下記までお知らせください。

[TEL]022-727-1872 [FAX]022-727-1873

[E-mail] koryu@simc.jp

2015年10月22日(木) 9:00より受付開始(先着順)



堀米ゆず子

♪ 編集後記 ♪

月初め、涼風に誘われて青春の故郷福岡へ。同級生に「成田達輝さん(第5回仙台国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門第2位)」を紹介、アクロス福岡で演奏会実現。ピアノは中野翔太さん。駆けつけます。(三)

コンクールまであと8ヶ月。気持ちだけは臨戦態勢ですが、この夏の異常な暑さで受けたダメージから立ち直れない。「せんくら」を楽しんで、まずはリフレッシュ!(岡)

暑い夏も終わり、何となく秋に入ったのかと空を眺めます。何かほっとした気分の今日この頃です。(清)

広報宣伝サポートに籍を置いて初めての原稿であり格好よく書こうと思ったが、結局ありのままに。これからもありのままによるしく。(豊)

さすが10年目のせんくら、と魅力満載のプログラムにあれも、これもと時間の配分に苦慮しつつセレクトした11公演のチケット。ジंकス?(3年目)又もや仕事の日程と重なる事に。身体ひとつで二兎は追えませぬよね。チケットの行方はいかに。(吾)

新メンバーの加入に、「もう先輩なんだ!」と驚いています。力を合わせて新しい紙面づくりに取り組んでいきたいです。(kuri)

夏のフェスシーズンが終わったと思ったら、「せんくら」ページの編集で間髪入れず秋モードに切り替えです。(川)

新規メンバーも加わり、新しい風が吹く広報部門。継続メンバーとともに今後の活躍に期待しています。(事務局/松)

メンバー数がぐっと増えて、これからの活動に更に活気が出てきそうな予感。楽しみにしています。(事務局/石)

発行: 第6回仙台国際音楽コンクール 広報宣伝サポートボランティア

[問い合わせ] 仙台市民文化事業団コンクール推進課(仙台国際音楽コンクール事務局) Tel: 022-727-1872 / e-mail: info@simc.jp / URL: http://www.simc.jp/